

桐生市の教育

⑤ 桐生市堀マラソン大会

桐生市堀マラソン大会は、毎年2月に開催し、参加者や沿道で応援する人も含め市民総ぐるみの一大イベントで、冬の風物詩としても広く市民の皆さんに愛されています。今回は、大会名の由来や歴史などを紹介します。

問い合わせは、スポーツ体
育課（☎内線657）へ。

なぜ大会名は堀マラソン？

大会名の「堀」は、桐生市体育協会初代会長の故堀祐平氏（1877～1955年）に由来しています。堀氏は、



第64回堀マラソン大会の様子

長野県に生まれ、20歳頃に桐生市へ移住し、人造絹糸を使った独特の織物の開発し、市内でも屈指の機業家として成功しました。また、市会議員を4期務め、桐生織物同業組合代議員・評議員、上毛電鉄取締役などを歴任するなど、桐生市の発展にも大きく貢献しました。

特に、体育協会会長となつてからは、私財を投じて、新川運動場（後に新川球場に改称、現在の新川公園）の建設に取り組み、その後、桐生市へ寄贈しました。

こうした体育振興の功績をたたえ、頌徳碑を建立したのを記念して昭和28年5月3日に行われた「堀祐平氏表彰県下マラソン大会」が大会の始まりです。

大会の歴史は

大会名は、第2回以降「堀祐平翁表彰記念群馬県マラソン大会」、「故堀祐平翁表彰記念堀マラソン大会」などと変更され、平成5年の第39回大会から現在の「桐生市堀マ

ラソン大会」となっています。

大会コースも、道路交通事情や参加者数の変化により何度か変更されています。第1回大会は、新川運動場をスタートし旧毛里田村吉沢（現在の太田市吉沢町）を折り返すコースでした。その後、旧西中学校をスタートし、梅田町で折り返すコースとなり、更にスタート地点が桐生工業高校、桐生女子高校と変更しています。中学の部では、川内町や菱町を走るコースが使われたこともあります。

平成4年の第38回大会では、市制施行70周年記念事業として、陸上競技場をスタート・ゴールとし、本町通りを走るコースで開催され、「引き続き本町通りを走りたい」との要望が多くあったことから、翌年の第39回大会から新川公園がスタート・ゴールで本町通りを走る現在のコースとなっています。

来年の大会は

第65回桐生市堀マラソン大会は、平成31年2月10日（日）に開催します。参加者の募集は、広報きりゅう10月号でお知らせします。大勢の参加をお待ちしています。

今月の表紙

7月1日（日）、平成30年度桐生八木節キャンペーンスタッフ認定式が行われ、11人がキャンペーンスタッフとして認定されました。これから、桐生八木節まつりだけでなく、全国各地の催しに出演し、桐生市の観光宣伝を行います。

人口と世帯

(6月30日現在)

人口	112,684人（-121人）
男	54,306人（-70人）
女	58,378人（-51人）
世帯	49,961世帯（-17世帯）

()内は前月比

今月の納税

市民税・県民税…第2期
国民健康保険税…第2期

8月31日（金）が納期限です

コンビニエンスストアや銀行などのペイジー対応ATMからも納付可能です。口座振替を利用している人は、預貯金残高のご確認をお願いします。

広告